

琉球大学キャンパス情報システム(全学編)仕様書案への意見書(2019/9/3提示仕様書に対する意見招請(回答)追加)			
仕様書項番	仕様の内容(仕様書の文章)	意見内容	回答
2.6.1(5)	ネットワーク起動時にも概ね90秒以内に起動を完了できるよう、必要なサーバ台数を用意すること。	「90秒以内」として期待されている起動時間が、どこからどこまでを計測した場合なのか明らかではありません。利用時の実感に近い条件で計測し、より高速かつ高機能な製品を選定いただくためにも、次のような内容への変更を提案いたします。  「ネットワーク起動時においても電源投入から自動ログオンしデスクトップが表示されるまでを概ね90秒以内に完了できるよう、必要なサーバ台数を用意し、必要な調整を行うこと。」	意見を踏まえ、最終仕様のなかで記載を検討します。
2.6.2(8)	許可されたライセンス数を超えるアプリケーションの起動を禁止する機能を有すること。	この要件で求められている「インストールされたディスクイメージをつかうものの、起動しないように設定する」ような構成がライセンス違反とならずに提案できるかどうかは、アプリケーションごとに個別に判断する必要があります。そして、最近はこのような運用が許される有償アプリケーションは無くなりつつあります。そのため、本要件を削除いただくことを提案いたします。  なお、もしこの要件を残すのであれば、本機能を利用する対象となるアプリケーションの一覧を開示いただくとともに、貴学にて各ライセンサーから許諾を得ていただけませんかでしょうか。	意見を踏まえ、最終仕様のなかで検討します。
2.6.2(10)-2	ブラウザの閲覧履歴を閲覧およびCSV形式で出力可能なこと。	この要件で求められている「ブラウザの閲覧履歴」を端末側で取得しようとする、最近のWebサイトで多く見られる「ページ内遷移」をしたものが記録されません。詳細かつ確実な情報の取得を希望されるのであれば、Web Proxyを設置し閲覧履歴を収集する方針をおすすめします。そのため、本要件を削除いただくことを提案いたします。  また、もしこの要件を端末側で実現するには「ブラウザ」ごとに対応が必要となります。多種あるブラウザのうち、どのブラウザを対象とするかを明らかにしていただけないでしょうか。	特定のブラウザを対象とする記載は、仕様に記載すること出来ません。意見を踏まえ、最終仕様のなかで検討します。
2.6.2(10)-3	起動にかかった時間を確認およびCSV形式で出力可能なこと。	この要件にある「起動にかかった時間」とは、電源を入れてからログオン画面が表示されるまでの時間と解釈してよろしいでしょうか。 この点を明確にするため、以下の内容への変更を提案いたします。  「起動にかかった時間(電源投入からログオン画面が表示されるまで)を確認およびCSV形式で出力可能なこと。」	意見を踏まえ、最終仕様のなかで検討します。
2.6.2への追加提案	(なし)	Windows 10において「LTSC(長期サービスチャネル)」の教育機関での利用はMicrosoftにより禁止される流れのため、「SAC(半期チャネル)」での運用が必須となります。 この場合、定期的にFeature Updateの適用を要することになるため、この点に対応した製品を選定しておくことが重要です。 そのため、次の内容を追加することを提案いたします。  「Microsoft社製Windows 10 EducationにおけるFeature Updateを、イメージの再作成をすることなく実施できること」	意見を踏まえ、最終仕様のなかで検討します。
3.1.2(1)	Microsoft社製Windows 10.0 Pro(以下、WinOS)相当以上の性能・機能を有すること。	ネットワーク起動の運用にあたっては別途SA権を有することが必須となります。この場合にはPro(Professional)ではなくEducationを利用できるため、このEducationを利用するのが一般的です。 つきましては、以下の内容への変更を提案いたします。  「Microsoft社製Windows 10 Education(以下、WinOS)相当以上の性能・機能を有し、SAC(半期チャネル)で運用すること。」	意見を踏まえ、最終仕様のなかで検討します。
3.1.2(2)	別紙(参考資料)に示すソフトウェアと同等以上の性能・機能を有するソフトウェアを提供すること。	別紙(参考資料)がございませんので、開示願います。	紙媒体では送付できます。